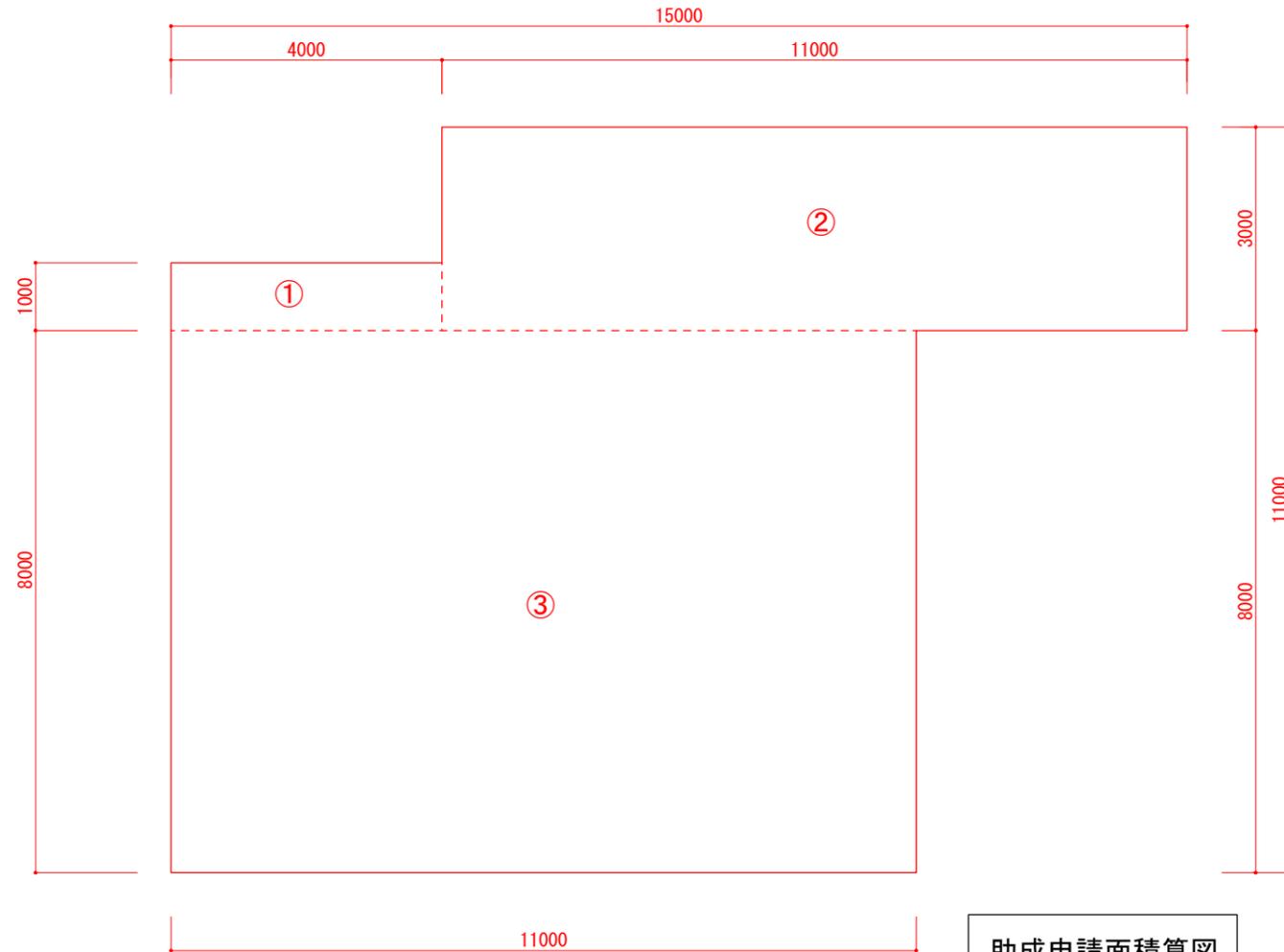


面積算定図・算定表

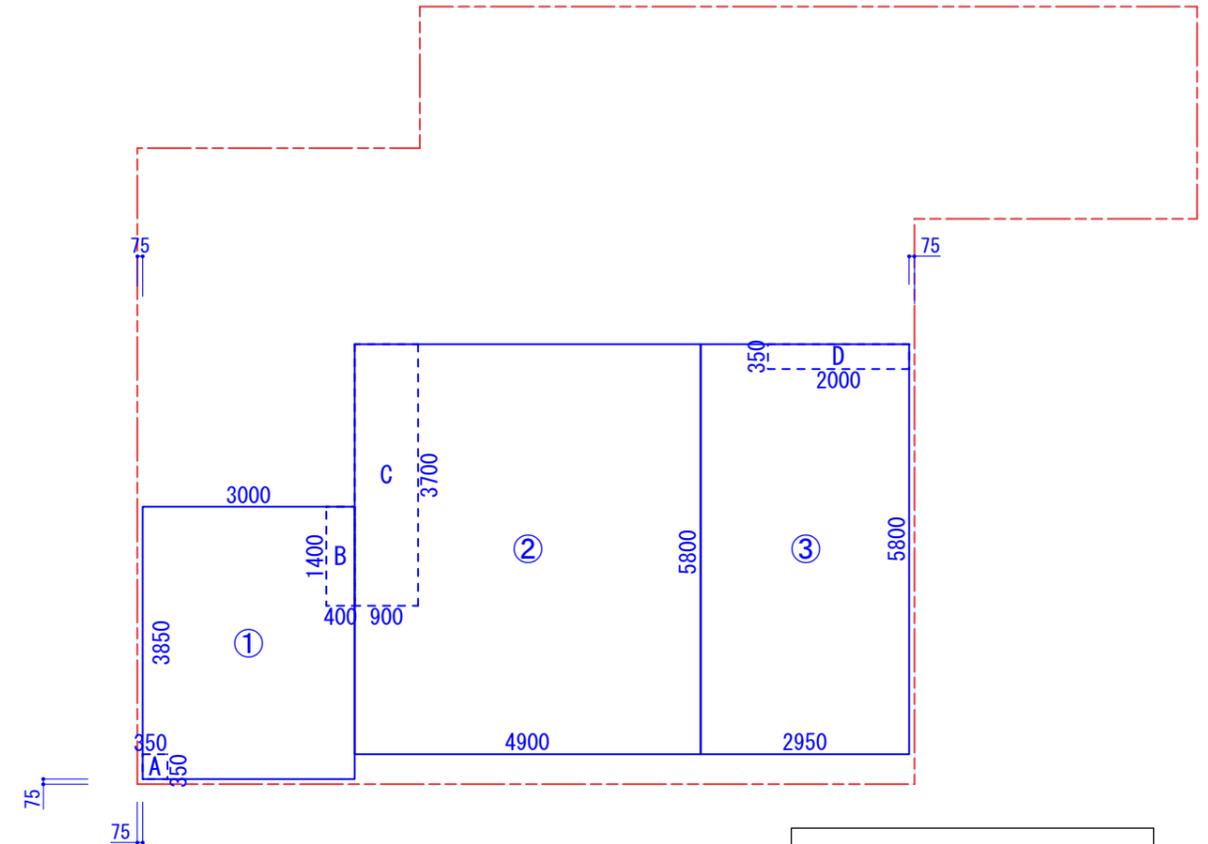


助成申請面積算定図

■助成申請面積算定表

1	1.0000 × 4.0000 = 4.0000	125.0000	125.0㎡
2	3.0000 × 11.0000 = 33.0000		
3	8.0000 × 11.0000 = 88.0000		

助成申請面積や採光・換気計算は壁芯寸法で計算します



有効面積算定図

■有効面積算定表

0歳児	①	3.0000 × 3.8500 = 11.5500	10.8675	10.8㎡	3人 × 3.3㎡ = 9.9㎡ < 10.8㎡
	A	0.3500 × 0.3500 = -0.1225			
	B	0.4000 × 1.4000 = -0.5600			
1歳児	②	4.9000 × 5.8000 = 28.4200	25.0900	25.0㎡	7人 × 3.3㎡ = 23.1㎡ < 25.5㎡
	C	0.9000 × 3.7000 = -3.3300			
2歳児	③	2.9500 × 5.8000 = 17.1100	16.4100	16.4㎡	7人 × 1.98㎡ = 13.86㎡ < 16.4㎡
	D	2.0000 × 0.3500 = -0.7000			

保育人数の算定には内法有効寸法を使い計算します

◇保育室の有効面積について

有効面積は園児が安全、健康に活動できる範囲、広さが必要です。その為、壁芯ではなく、壁の内側寸法で算定となります。園児滞在時に常時存在するこどもロッカー、絵本棚などの家具や、手洗いなどの設備は固定、可動に関わらず、有効面積から除外となります。一方で小さな遊具や椅子・机といった保育時間内に園児が使用する家具については、有効面積に含めることができます。具体的には以下6項目を参照してください。また、安全・健康の観点から、明らかな動線スペース、扉がある狭い廊下的なスペースなどは審査の段階で有効面積から除外を求めることがあります。申請後に定員を減らすことはできませんので、将来を踏まえて余裕ある計画にして頂くことを望みます。

以下のスペースは有効面積に含みません。

- ①柱、壁などの建物躯体
- ②手洗いなどの設備
- ③こどもロッカー、絵本棚などの家具
- ④有効高さ1.4m未満のスペース
- ⑤玄関の下足部分
- ⑥ピアノ・オルガン・電子ピアノなどの備品

